

みずほCustomer Desk Report 2022/10/11号(As of 2022/10/10)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD	公示仲値	-
TKY 9:00AM	145.46	0.9736	141.62	1.1075	0.6363		
SYD-NY High	145.80	0.9753	141.76	1.1110	0.6379		
SYD-NY Low	145.25	0.9682	141.00	1.1020	0.6275		
NY 5:00 PM	145.74	0.9703	141.46	1.1060	0.6299		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)		
NY DOW	29,202.88	▲ 93.91	日本2年債	-	-		
NASDAQ	10,542.10	▲ 110.30	日本10年債	-	-		
S&P	3,612.39	▲ 27.27	米国2年債	-	-		
日経平均	-	-	米国5年債	-	-		
TOPIX	-	-	米国10年債	-	-		
シカゴ日経先物	26,670.00	▲ 50.00	独10年債	2.3215%	0.1275%		
ロンドンFT	6,959.31	▲ 31.78	英10年債	4.4700%	0.2340%		
DAX	12,272.94	▲ 0.06	豪10年債	3.9110%	0.0590%		
ハンセン指数	17,216.66	▲ 523.39	USDJPY 1M Vol	11.82%	0.34%		
上海総合	2,974.15	▲ 50.25	USDJPY 3M Vol	11.38%	0.17%		
NY金	1,675.20	▲ 34.10	USDJPY 6M Vol	11.40%	0.13%		
WTI	91.13	▲ 1.51	USDJPY 1M 25RR	▲ 1.49%	Yen Call Over		
CRB指数	283.06	▲ 2.56	EURJPY 3M Vol	13.46%	0.34%		
ドルインデックス	113.14	0.35	EURJPY 6M Vol	13.32%	0.20%		

東京	アジア時間のドル円は145.46レベルでオープン。東京休日で取引低調な中、先週末に発表された堅調な9月米雇用統計結果を受けたドル買い圧力に押され、ドル円は朝方から底堅く推移。早々に145.50を抜けると145.66まで上値を試す動きが見られたものの、145円台後半では日銀による為替介入再実施が警戒され、その後は反落。午後にかけてはレンジ内でやや軟調な値動きとなり、145.34まで下げた後、145.37レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、145.37レベルでオープン。ドルと円が休日の中、先週末の流れを引き継ぎドル買い。145.60まで上昇し145.54レベルでロンドン時間クローズ。ポンドドルは、1.1077レベルでオープン。英中銀が今週末で停止する長期債購入措置で混乱防止のために購入枠を増額すると発表する中で一時1.1109まで買われるも、反落すると1.1027まで売られる。英財相が11月予定の予算案を今月31日に前倒しで発表するとのヘッドラインに再び買い戻されるも1.11台を回復できず、結局1.1064レベルでロンドン時間クローズ。
ニューヨーク	休場

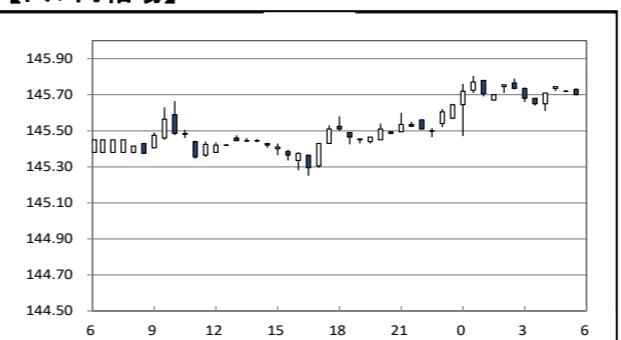
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月7日	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	9月 263K	255K
	21:30	米 失業率	9月 3.50%	3.70%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	9月 0.3%/5.0%	0.3%/5.0%
10月11日	02:35	米 ブレイナードFRB理事 講演	「慎重にデータ次第で政策金利を定める」	

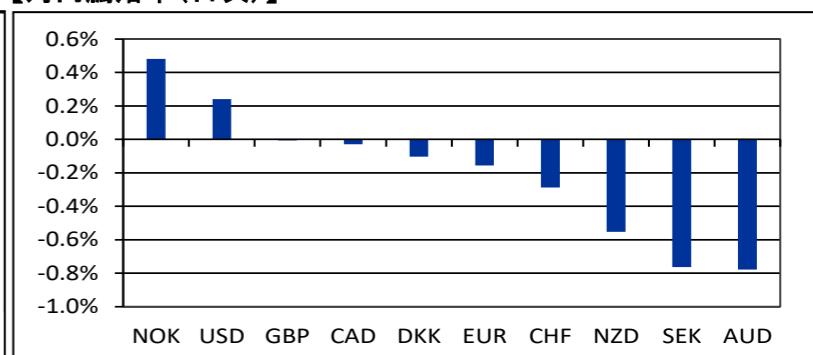
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月12日	01:00	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	144.60 – 146.20	0.9650 – 0.9800	140.00 – 142.50

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日と昨日のドル円は続伸。金曜の東京時間は145.05でオープン。米9月雇用統計を前に方向感を欠く推移となった。雇用統計発表直後は144.55まで急落後、145.35まで反発。NFP、失業率ともに市場予想比堅調な結果であったことからタカ派相場継続のきっかけとなった。急上昇した米金利が一服した後も再び上昇し、ドル買いをサポートした。昨日は東京、NYとともに休日で取引低調となる中、先週末の流れを引き継ぎ堅調に推移。一時、145.80を付ける場面もあったが、結局145.74でクローズした。

本日のドル円は145円台半ばでのレンジ相場を予想する。今週木曜の米9月CPIを前に様子見の展開となろう。高止まりする米金利やFRB高官のタカ派姿勢を受けてドル円は高値圏を推移しているが、146円を目前に日銀の為替介入の警戒感もある他、ドル売り需要も相応にあるため、急落には注意が必要だ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:西・松木